

平成31年度使用

中学校用教科用図書研究資料（概評）

【特別の教科 道徳】

教科用図書北諸県採択地区協議会

1 道徳の目標の達成及び題材の構成・配列等

〔観点1〕 中学校学習指導要領に示された「特別の教科 道徳」の目標を達成するために、どのような構成・配列がなされているか。

| 発行者 | 概 評 |
|--------|---|
| 2 東 書 | <p>(1) 目標達成のための構成として、各題材の冒頭に考える観点 が示され、自分の感じたことや考えを書き込む枠も設けられ ており、話し合いや議論を通して自分の道徳的価値を深められ るような工夫がされている。</p> <p>(2) 題材の配列については、いじめや命に関わることを重視し た配列がされており、各学年3時間続きの学びにより生命の 尊さやいじめ防止についての学習が充実するように配慮して いる。</p> |
| 11 学 図 | <p>(1) 目標達成のための構成として、題材をもとにして考え、議 論する視点が示され、道徳的価値に焦点化した資料と関連さ せて学ぶことで自分自身の道徳的価値に気付き、深められる ような工夫がされている。</p> <p>(2) 題材の配列については、年度当初に学級づくりに関わるペ ージを設定し、道徳の基盤となる人間関係づくりに生かすこ とで年間を通した道徳科の授業が充実するように配慮してい る。</p> |
| 17 教 出 | <p>(1) 目標達成のための構成として、新聞記事やグラフ等を取り 上げて議論したり、役割演技等の体験的な活動を通して話し 合ったりする事で、日常生活の中での道徳的実践意欲や態度 の育成に結びつける工夫がされている。</p> <p>(2) 題材の配列については、学校行事や他教科等との関連をも たせたものとなっており、日常生活と関連させ実感を伴った 道徳的価値理解につなげる学習が充実するように配慮してい る。</p> |
| 38 光 村 | <p>(1) 目標達成のための構成として、様々な視点から生命の尊さ について考える題材や小学校での題材を取り上げる等、自分 の考えに気付かせ、発達段階に合わせて道徳的価値の理解を 深める工夫がされている。</p> <p>(2) 題材の配列については、複数の題材を関連させたユニット や学びを深める別資料を用いることで、様々な側面から道徳 的価値に気付かせ理解を深める学習が充実するように配慮し ている。</p> |

| | |
|-----------|---|
| 116 日 文 | <p>(1) 目標達成のための構成として、キャリア教育の視点から特に深める道徳的価値を学年のテーマに設定し、自分の道徳的価値の理解に気付かせる視点を示すことで、人間としての生き方を考える工夫がされている。</p> <p>(2) 題材の配列については、特にいじめについて複数の題材とコラムを組合せて重点的に取り上げ、問題解決的な学習等により望ましい人間関係を構築する学習が充実するように配慮している。</p> |
| 208 学 研 | <p>(1) 目標達成のための構成として、題材とは異なる視点から道徳的価値について考える資料や、道徳的行為に関する体験的な学習につなげる特設の資料により、自己と向き合い、自己理解を深める工夫がされている。</p> <p>(2) 題材の配列については、同じ視点から考えている題材が連続することなくバランスよく配列され、環境や貧困、開発等の広い視野から生き方を考える学習が充実するように配慮している。</p> |
| 232 廣あかつき | <p>(1) 目標達成のための構成として、題材を通して考えることや本冊と補充資料を含む別冊の相互活用により、自分自身の関わりを見つめ直し、道徳的価値についての理解が深められるような工夫がされている。</p> <p>(2) 題材の配列については、防災教育や国際理解教育などの現代の社会が抱える課題や、先人や様々なジャンルで活躍する著名人の実話により生き方を考える学習が充実するように配慮している。</p> |
| 233 日 科 | <p>(1) 目標達成のための構成として、学年間のつながりを重視した題材や他領域にもつながる題材を配置し、発達の段階に応じて人間としてのよりよい生き方について考えを深められるような工夫がされている。</p> <p>(2) 題材の配列については、題材を4つの視点ごとにまとめて配列することで、各学校の実態やそれぞれの状況等に応じた年間計画を作成し実態にあった学習が充実するように配慮している。</p> |

2 道徳性を養う指導を行うための内容の充実

〔観点2－(1)〕 充実した言語活動や、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習などが設定され、多面的・多角的に自分自身との関わりの中で考えられるような学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。

| 発行者 | 概 評 |
|--------|--|
| 2 東 書 | <p>(1) 充実した言語活動を展開するために、「つぶやき」の欄に感じたことや考えたことなどを書き込み、書き込んだことを話し合いにおいて活用し合うことにより、互いの考えを知ることを通して自分自身の考えに気付けるような工夫がされている。</p> <p>(2) 問題解決的な学習を展開するために、題材の冒頭で題材を通してどのようなことについて考えるのかが提示され、生徒が問題意識をもち、主体的に考えを深められるような工夫がされている。</p> <p>(3) 体験的な学習を展開するために、役割演技や体験活動を通して議論する「Action!」を活用することで、自分との関わりで深く考えたり、自分自身について改めて気付いたりすることができるような工夫がされている。</p> |
| 11 学 図 | <p>(1) 充実した言語活動を展開するために、「心の扉」の中に見方や考え方を促す文章表現やデータを示すことで、自分の感じたことや考えたことを整理することができ、書くことを通して自分自身との関わりから深く考えられるような工夫がされている。</p> <p>(2) 問題解決的な学習を展開するために、主題についての発問とともに、価値や見方を広げたり自分のこととして考える発問を示したりすることで、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。</p> <p>(3) 体験的な学習を展開するために、「学びに向かうために」の中に、役割演技的な活動を取り入れることができる発問を示すことで道徳的価値を実感し、自分の生き方について考えることができるような工夫がされている。</p> |

| | |
|---------|--|
| 17 教 出 | <p>(1) 充実した言語活動を展開するために、題材の冒頭に学級全体で主題の共有につながる文章や、考え、議論する視点となる「学びの道しるべ」を活用することにより、生徒自らが多面的・多角的な考えに気付きにつながるような工夫がされている。</p> <p>(2) 問題解決的な学習を展開するために、異なる立場からの考えを取り上げた読み物の題材や実際の調査に基づいた資料等をもとに自分の立場や考えを明確にさせ、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。</p> <p>(3) 体験的な学習を展開するために、行事との連携を図った題材配列や「やってみよう」を設けることで、役割演技を取り入れ、学習内容を日常での道徳的行為や習慣に結びつけることができるような工夫がされている。</p> |
| 38 光 村 | <p>(1) 充実した言語活動を展開するために、「学びのテーマ」の中にある「私の気づき」の欄を活用し、自分が考えたことや話合いを通して心に残った発言を書いたり、振り返ったりすることで自分の心の変容に気付けるような工夫がされている。</p> <p>(2) 問題解決的な学習を展開するために、「学びのテーマ」の中で自分自身や、他者の立場から考えることができる「考える観点」や「見方を変えて」の問いを活用し、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。</p> <p>(3) 体験的な学習を展開するために、役割演技を取り入れることができる「人と人との関係づくり」を示すことで、相手の気持ちを深く考えたり、自分自身について改めて気付いたりすることができるような工夫がされている。</p> |
| 116 日 文 | <p>(1) 充実した言語活動を展開するために、「道徳ノート」の併用を図り、自分の考えだけでなく他者の意見や話合いの内容を書くことにより、道徳的価値についてより多面的・多角的に考え、実感を伴った理解へつなげるような工夫がされている。</p> <p>(2) 問題解決的な学習を展開するために、中心発問以外に自分を振り返らせ、学んだことを前向きに生かす「自分に+1」の発問や「学習の進め方」を活用して、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。</p> <p>(3) 体験的な学習を展開するために、体験的な学習に適した題材には「学習の進め方」を設け、体験を通して考えたことを話し合うことで、学習内容を実感が伴った深い学びにつなげることができるような工夫がされている。</p> |

| | |
|-----------|---|
| 208 学 研 | <p>(1) 充実した言語活動を展開するために、自分ならどうするか判断と理由を書いたことをもとに話し合い、話し合いから新たに気付いた事を書き記すことができる「深めよう」を活用することで、自らを見つめ直せるような工夫がされている。</p> <p>(2) 問題解決的な学習を展開するために、あえて主題を示さないことにより生徒自身に問題意識をもたせ、道徳的価値を他者とともに考える発問を示すことで、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。</p> <p>(3) 体験的な学習を展開するために、役割演技等を取り入れた「深めよう」や、自分自身を見つめ直す「クローズアッププラス」を活用することで、生徒が主体的に考えを広げ、深められることができるような工夫がされている。</p> |
| 232 廣あかつき | <p>(1) 充実した言語活動を展開するために、「道徳ノート」に示された視点で自分の考えを整理し話し合いにつなげるとともに、道徳的価値の説明資料を活用することで、道徳的価値について深く考えられることができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 問題解決的な学習を展開するために、題材全てにめあてを示し主題について考えを深める発問や、道徳的価値のよさを理解し発展させていく資料を示すことで、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。</p> <p>(3) 体験的な学習を展開するために、「考える・話し合う」の中に役割演技や追体験へとつなげる視点を示し、道徳的行為に関する体験的な活動を通して、自分自身のこととして深く考えることができるような工夫がされている。</p> |
| 233 日 科 | <p>(1) 充実した言語活動を展開するために、「書いてみよう」「考えてみよう」の資料を活用することで、自分の考えを整理し、話し合いにつなげるとともに、道徳的価値について深く考えることができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 問題解決的な学習を展開するために、題材からみんなで話し合う視点をみつける発問や、自分自身を振り返り、自分の生き方を考えることにつなげる発問により、生徒が主体的に考えを深められるような工夫がされている。</p> <p>(3) 体験的な学習を展開するために、日常生活における身近な話題の題材を多く取り入れ、日常での道徳的行為や道徳的諸価値への理解を、体験的な活動を通して実感を伴った理解へとつなげることができるような工夫がされている。</p> |

2 道徳性を養う指導を行うための内容の充実

〔観点2－(2)〕 現代的な課題や身近な社会問題に関する題材（いじめ問題等）を取り上げるなど、主体的に自分自身との関わりで考えられるように、どのような工夫が見られるか。

| 発行者 | 概 評 |
|--------|--|
| 2 東 書 | <p>(1) いじめ問題について、実際の事例を扱った題材や自分はどうのよういじめと向き合っていくのか深く考えさせる3つの題材を組み合わせ、イラストや漫画・読み物などを用いて、差別や偏見をなくすためにどうすればよいか多面的・多角的に考えさせることで主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについて、SNSやネット投稿など、身近で興味関心をもって学習できる題材を取り上げ、情報や情報機器を扱う際に気をつけるべきことや友人関係を良好に築く方法を考えさせたりするなど、自分の生活と結び付けて考えさせるような工夫が見られる。</p> |
| 11 学 図 | <p>(1) いじめ問題について、正しく判断していじめを起こさず、いじめを許さない断固たる心情を育てるのに適した題材と、いじめ問題に正対して取り組むためにいじめを直接扱った2つの題材を用い、よりよい人間関係はどのようにあればよいか考えさせることで主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについて、ブログの書き込みやネットゲーム、著作権など身近な問題を取り上げ、自由に伴う責任を考えさせ、情報の受け手や発信者として、どのような考え方・構え方が必要なのか、自分の生活と結び付けて考えさせるような工夫が見られる。</p> |
| 17 教 出 | <p>(1) いじめ問題について、いじめを直接的に扱った題材や、いじめを許さない心を育む題材を3年間で体系的に考え、深めていくように掲載し、自他の命を尊び、他者とよりよい関係をつくっていくためには、どのような行動をとればよいか考えさせることで主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについて、SNSやネット投稿、歩きスマホの問題など身近な問題を取り上げ、情報社会でのルールやマナーの必要性や情報機器とのよりよい付き合い方について、データや法規の活用による問題解決的な学習により、自分の生活と結び付けて考えさせるような工夫が見られる。</p> |

| | |
|---------|---|
| 38 光 村 | <p>(1) いじめ問題について、いじめをしない、させない、見過ごさない姿勢を系統的に育成する題材と、「いじめについて考える」というテーマのコラムにより体験的な学習として他者とよりよい関係を築くための望ましい行動について考え、議論させることで、主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについて、ネットへの書き込みやネット依存、著作権など身近な問題を扱った題材と学びを深めていくためのコラムを設定し、情報モラルの在り方や情報社会で起こる様々な問題について、自分の生活と結び付けて考えさせるような工夫が見られる。</p> |
| 116 日 文 | <p>(1) いじめ問題については、多様な題材やコラムをユニット化して集中的に学習し、いじめについての理解を深め、スキルを身に付けるためのコラムや、いじめについて考え、議論することを投げかける特設のページが設けられ、いじめの未然防止のために多面的・多角的な視点から、主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについて、情報社会の倫理や情報セキュリティ等に関わる内容を考えさせる題材と学びを深めるためのコラム「プラットホーム」がユニット化され、情報機器とのよりよい付き合い方について、自分の生活と結び付けて考えさせるような工夫が見られる。</p> |
| 208 学 研 | <p>(1) いじめ問題について、「いじめをなくすために」というテーマで題材が示され、いじめを生まない力を引き出し、育てるために、生活に身近な内容で直接的に考えたり、特設ページによって、様々な面からいじめについて深く考え、議論させる活動へつなげるなど、主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについて、スマートフォンやインターネットの事例などを使用上のルール・マナーや望ましい生活習慣や情報の扱い方など、発達段階に応じて身近な課題として具体的に考えられる題材を取り上げ、自分の生活と結び付けて考えさせるような工夫が見られる。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 232 廣あかつき | <p>(1) いじめ問題について、第1学年の「thinking」のページに「してもよい『いじめ』などない」と明確に示し、第2学年では「いじめの構造」から理論的に考え、第3学年では「世界人権宣言」を扱い、人権からいじめを考える等、発達段階に応じて様々な角度から、主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについて、ネットゲームやSNS投稿など生徒にとって身近な問題を扱った題材や、情報機器の取り扱いや情報社会を生きていくうえで大切なことなどを「特集」として各学年で取り上げ、自分の生活と結び付けて考えさせるような工夫が見られる。</p> |
| 233 日 科 | <p>(1) いじめ問題について、いじめを許さない心の育成を目指して、生活の中で身近な話題や起こりうる場面など、生徒にとって身近で深く考えられるような題材や、生命を守り、救う題材などを用いて、生命尊重への学びをより深めると共に、生命とは何かについて主体的に自分自身との関わりで考えられるように工夫している。</p> <p>(2) 情報モラルについて、SNSやインターネットなど身近な題材を取り上げ、その楽しさや便利さだけでなく危険性などに気付かせ、良好な人間関係を築くためのインターネット・コミュニケーションについて、自分の生活と結び付けて考えさせるような工夫が見られる。</p> |

3 利便性の向上

〔観点3〕 本地区の願いや思い、生徒の実態等を踏まえ、生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

| 発行者 | 概 評 |
|--------|--|
| 2 東 書 | <p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、巻末に心情の度合いを表す心情円やホワイトボードを設けることで、自分の気持ちを表現することや互いの考えを交流させる活動へ生かし、主体的で深まりのある学習に取り組むことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、「考えてみよう」の設問で道徳的価値について気付かせ、「アクション」で役割演技や体験的な学習を通してねらいとする道徳的価値を自分との関わりで深く考えられる工夫が見られる。</p> |
| 11 学 図 | <p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、全学年とも「学級づくり」のページを設け、対話によるグループワークを通して温かい人間関係の構築へつなげたり、「保護者の方へ」の資料に家庭と連携して生徒の道徳的価値を高めたりすることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、「学びに向かうために」で題材を通して多面的・多角的に考えを深めさせ、道徳的価値に焦点化した「心の扉」を関連させることで道徳的価値についての理解を深められる工夫が見られる。</p> |
| 17 教 出 | <p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、導入の文章で学習に見通しをもたせてねらいを明確にし、「学びの道しるべ」の発問で様々な角度から話し合うことで、物事を自分の立場に置き換えて考えさせ、題材にある道徳的価値を理解することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、「やってみよう」で役割演技や体験的な学習を通して相手の立場に立って物事を考え、道徳的価値の理解を生活の中での行為や習慣に結びつけて考えられる工夫が見られる。</p> |

| | |
|-----------|---|
| 38 光 村 | <p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、対話を通して学習し、よりよい判断・行動につなげさせるための道徳の学び方や学ぶ目的に関する資料を設け、今日的な課題を取り上げた「コラム」を関連させて活用することで、より深く考えることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、「学びのテーマ」でめあてを意識させ、「私の気づき」で感じたことや考えたことを書かせることで学んだことを深く考えたり、行動につなげたりして自身の変容を実感できる工夫が見られる。</p> |
| 116 日 文 | <p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、各題材の主題名を示すことで学習の見通しをもたせ、授業を通して考えたことや友達の意見を別冊ノートに継続的に書き留めることで、言語活動を充実させ、多面的・多角的に考えることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、「学習の進め方」で問題解決的、または体験的な学習をさせることで道徳的価値をより深く考えさせ、「プラットフォーム」で学習した内容をより多面的・多角的に考えられる工夫が見られる。</p> |
| 208 学 研 | <p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、道徳的価値を「よりよく生きるための22の鍵」として6つのテーマごとに示すことで学習に見通しをもたせ、巻頭・巻末に自分を見つめ、自分を振り返らせるページを設けることで、自分の心の成長を実感することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、「特設ページ」で役割演技や話し合い活動を通して道徳的行為について具体的に考えさせ、主体的に自己の生き方についての考えを広げ、深めるような工夫が見られる。</p> |
| 232 廣あかつき | <p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、別冊ノートを道徳科の学習だけでなく行事や各教科等の機会に応じて弾力的に活用し、書くことを通して自己を振り返り、表やグラフ、詩・名言から自分の生き方について多面的・多角的に考えることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、めあてとなる学習の手がかりや考え、話し合う視点の提示により学習の見通しをもたせ、自分との関わりから主体的・対話的に考えることができるような工夫が見られる。</p> |

| | |
|---------|---|
| 233 日 科 | <p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、巻頭に道徳科で学ぶ内容や学び方、多様な考えを知るために必要な活動を示すことで学習の見通しをもたせ、巻末に1年間の学びを数値化して評価することで、自分の取り組みを実感的に振り返ることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒にとって分かりやすくするために、考え、話し合う視点を明確に示すことで今の自分を気付かせ、特設された資料から人権や環境など価値観の多様性について考えることができるような工夫が見られる。</p> |
|---------|---|